

豊田市足助(愛知県)

(1) 保存地区の概要

地 区 名	豊田市足助
種 別	商家町
面 積	約21.5ヘクタール
選定年月日	平成23年6月20日
特 徴	愛知県北東部に位置する足助は、伊那街道の重要な中継地点として栄え、江戸時代から昭和前期までの町家が密度高く並んでいる。街道沿いの短冊状の敷地に平入・妻入の主屋が間口いっぱい建ち並び、背後には付属屋、土蔵などが配置されている。足助川沿いには、石垣を築き、川に張り出すようにして座敷などが建てられ、独特の景観をつくり出している。



(2) 保存地区のあゆみ

昭和50年度	有志30人で「足助の町並みを守る会」発足
昭和51年度	『足助町町並調査概報』発行
昭和52年度	『足助の町並み』『三州・足助の町並み』発行
平成 5年度	「足助まちづくりの会」発足
平成 6年度	「足助の街づくりに関する要綱」「足助の街づくり規範」制定 「街なみ環境整備事業」による修景(～16年度)
平成17年度	「足助まちづくり推進協議会」発足
平成20年度	「伝統的建造物群保存地区制度推進部会」発足
平成21年度	足助伝統的建造物群保存対策調査(～22年度) 「まちづくり交付金事業」により電線類地中化(～25年度) 豊田市景観計画 足助景観重点地区編 足助景観計画策定
平成22年度	『足助伝統的建造物群保存対策調査報告書』発行 豊田市伝統的建造物群保存地区保存条例制定
平成23年度	『重要伝統的建造物群保存地区』選定 修理・修景事業開始
平成25年度	地区内の「旧鈴木家住宅」が重要文化財に指定
平成28年度	豊田市足助伝統的建造物群保存地区防災計画策定
令和 3年度	重伝建地区選定10周年事業実施
令和 5年度	「旧鈴木家住宅」主屋の部分公開を開始

(3) 保存地区の保存と整備

● 主な事業

令和3年度	修理事業1件 修景事業1件
令和4年度	修理事業1件
令和5年度	修理事業1件 修景事業1件
令和6年度	修理事業4件
令和7年度	修理事業4件 修景事業1件
累計 (平成23年～ 令和7年)	修理事業42件 修景事業19件 防災事業8件 総事業69件

● 電線類地中化等事業

平成21年度～25年度 電線類地中化事業, 道路修景整備事業, 橋梁修景整備事業

修理事業の例



修景事業の例



防災事業(案内看板)の例(H23年度)



防災事業(消火ハリアー)の例
(R2年度)



電線類地中化事業及び道路修景整備事業の例



橋梁整備事業の例



(4) 保存地区の活用とまちづくり

足助では地域や住民による、古い町並みを活かし、賑わいを創出するイベントが、従前より盛んに行われている。近年、テレビ番組や映画の撮影などにも使われ、メディア露出の機会が増加している。また、重要伝統的建造物群保存地区選定後に作成した「足助の町並を活かした学習ガイドブック」により、地元や市内の小中学生が町並みで学ぶ機会が増加し、保存意識向上の効果を生んでいる。

● 地区内で催されるイベント



春の「中馬のおひなさん」H11～



夏の「たんころりんの夕涼み」H14～



スタンプラリー「串日和」R7

● 子どもの町並み学習



旧田口家住宅を観光案内所として活用R3～



地元小学校町並み学習H25～



地元高校企画のシールラリーR3～

(5)住民等の取組

●伝建かわら版編集委員会

住民代表からなる組織で、「伝建かわら版」の編集・発行を行い、重要伝統的建造物群保存地区の補助制度の周知や、住民の町への想いを紙面で伝えている。

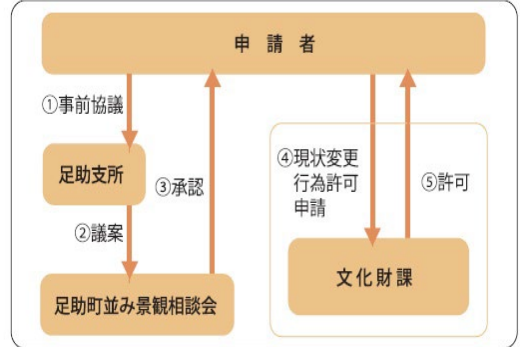
【近年の主な活動】
・「伝建かわら版」の取材



●足助町並み景観相談会

住民代表や地元組織代表、有識者ら19名からなる組織で、伝統的建造物群保存地区を含む足助町全体の景観について審議し、より良い景観となるようアドバイスを行っている。

【近年の主な活動】
毎月2回開催



●足助町並みサポーター

主に町外や市外在住者を中心とした17名からなるボランティア団体。地域住民と協力し、空き家を活用したイベントや啓発ポスターの作成など、町並みPR活動を行っている。

【近年の主な活動】
・足助の町並みPRポスターの作成
・旧豊田家住宅「もちもち花をつくってみよう」
・小出家住宅「春(秋)の一部特別公開」
・町並み一帯「足助町並み なぞときめぐり」
・旧鈴木家住宅「餅花づくり体験」



●足助まちづくり推進協議会 防災部会

住民代表8名からなる組織で、伝統的建造物群保存地区を含む足助町全体の防災活動の推進を行っている。

【近年の主な活動】
・防災訓練の実施
・初期消火器機設置にかける調整

